

キヤノンマーケティングジャパングループ 2019年度第2四半期 決算説明

2019年7月24日

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

取締役専務執行役員 松阪 喜幸

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

-
- 本資料では、億円単位未満の端数は四捨五入により表示しております。
 - 本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

売上高 **1,519億円** **(前年比+22億円 / +1%)**

- ✓ コンシューマセグメントがレンズ交換式デジタルカメラ等の減少により減収となったものの、エンタープライズ・エリアの各セグメントがITソリューションを中心に増収となり、売上は増加。

営業利益 **64億円** **(前年比+5億円 / +8%)**

- ✓ コンシューマ・エンタープライズで減益となったものの、エリア・プロフェッショナルが増益となり、増益。

**親会社株主に帰属する
四半期純利益** **47億円** **(前年比△3億円 / △5%)**

業績サマリー 第2四半期(4~6月)実績

■ 業績サマリー

(単位：億円)

	2018年 2Q	2019年 2Q	前年同期比較	
			金額	率
売上高	1,497	1,519	+22	+1%
売上総利益	(35.4%) 530	(31.7%) 481	(△3.8%) △49	△9%
営業利益	(4.0%) 59	(4.2%) 64	(+0.2%) +5	+8%
経常利益	(4.6%) 69	(4.7%) 71	(+0.1%) +2	+3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(3.3%) 49	(3.1%) 47	(△0.2%) △3	△5%

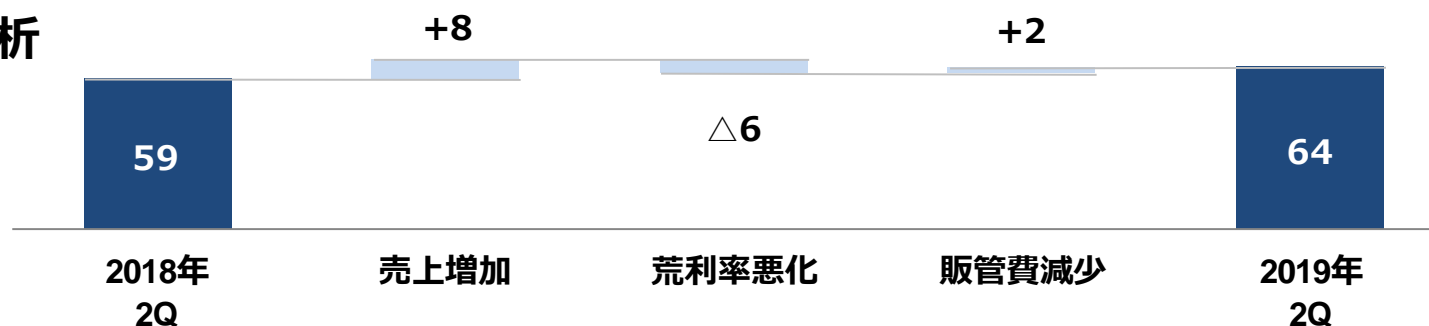
業績サマリー 第2四半期(4~6月)実績 組替前実績比較

■ 業績サマリー

(単位：億円)

	2018年 2Q	2019年 2Q	サービス 組替影響	2019年 2Q (組替前)	組替前比較	
					金額	率
売上高	1,497	1,519		1,519	+22	+1%
売上総利益	(35.4%) 530	(31.7%) 481	51	(35.0%) 532	(△0.4%) +2	+0%
営業利益	(4.0%) 59	(4.2%) 64		(4.2%) 64	(+0.2%) +5	+8%
経常利益	(4.6%) 69	(4.7%) 71		(4.7%) 71	(+0.1%) +2	+3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(3.3%) 49	(3.1%) 47		(3.1%) 47	(△0.2%) △3	△5%

■ 営業利益分析



セグメント概要 第2四半期(4~6月)実績

(単位：億円)

	2018年 2Q		2019年 2Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
コンシューマ	342	10	318	10	△24	△0
エンタープライズ	462	21	488	20	+26	△1
エリア	634	28	652	32	+18	+4
プロフェッショナル	111	△0	111	5	△1	+5
その他	△53	0	△49	△3	+3	△3
合 計	1,497	59	1,519	64	+22	+5

※1.「その他」には、セグメント間内部売上高やシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。

※2.2019年より、「プロフェッショナル」セグメントのサブセグメントであった「映像ソリューション」を「エンタープライズ」と「エリア」セグメントに移管しました。

また、グループ内に分散していたセキュリティビジネスの企画・開発機能をキヤノンMJ単体のマーケティング統括部門に集約した結果、セグメント間取引の金額が変更になっております。なお、前期のセグメントは当期の区分方法に組替えを行っております。

業績サマリー 第2四半期(1~6月)実績

■ 業績サマリー

(単位：億円)

	2018年 1Q-2Q	2019年 1Q-2Q	前年同期比較	
			金額	率
売上高	3,005	3,029	+23	+1%
売上総利益	(34.9%) 1,050	(32.0%) 968	(△3.0%) △82	△8%
営業利益	(3.2%) 97	(4.4%) 134	(+1.2%) +38	+39%
経常利益	(3.7%) 110	(4.7%) 143	(+1.1%) +34	+30%
親会社株主に帰属する 当期純利益	(2.5%) 74	(3.1%) 94	(+0.6%) +20	+27%

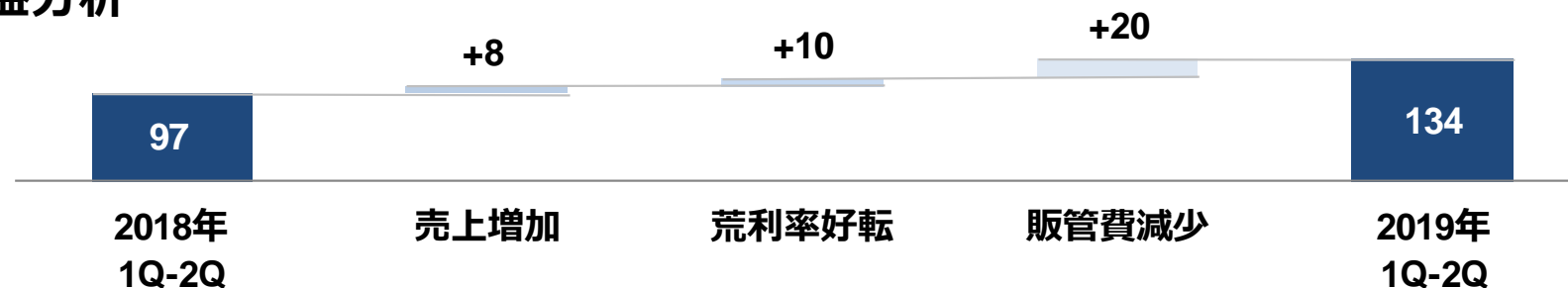
業績サマリー 第2四半期(1~6月)実績 組替前実績比較

■ 業績サマリー

(単位：億円)

	2018年 1Q-2Q	2019年 1Q-2Q	サービス 組替影響	2019年 1Q-2Q (組替前)	組替前比較	
					金額	率
売上高	3,005	3,029	-	3,029	+23	+1%
売上総利益	(34.9%) 1,050	(32.0%) 968	100	(35.3%) 1,068	(+0.3%) +18	+2%
営業利益	(3.2%) 97	(4.4%) 134	-	(4.4%) 134	(+1.2%) +38	+39%
経常利益	(3.7%) 110	(4.7%) 143	-	(4.7%) 143	(+1.1%) +34	+30%
親会社株主に帰属する 当期純利益	(2.5%) 74	(3.1%) 94	-	(3.1%) 94	(+0.6%) +20	+27%

■ 営業利益分析



セグメント概要 第2四半期(1~6月)実績

(単位：億円)

	2018年 1Q-2Q		2019年 1Q-2Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
コンシューマ	610	△11	577	△3	△34	+8
エンタープライズ	934	43	987	55	+53	+12
エリア	1,302	55	1,328	70	+26	+15
プロフェッショナル	262	8	232	13	△30	+5
その他	△103	2	△96	△1	+7	△2
合 計	3,005	97	3,029	134	+23	+38

※1.「その他」には、セグメント間内部売上高やシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。

※2.2019年より、「プロフェッショナル」セグメントのサブセグメントであった「映像ソリューション」を「エンタープライズ」と「エリア」セグメントに移管しました。

また、グループ内に分散していたセキュリティビジネスの企画・開発機能をキヤノンMJ単体のマーケティング統括部門に集約した結果、セグメント間取引の金額が変更になっております。なお、前期のセグメントは当期の区分方法に組替えを行っております。

売上高 318億円（前年比 $\Delta 24$ 億円 / $\Delta 7\%$ ）

➢ レンズ交換式デジタルカメラの販売減により、減収。

営業利益 10億円（前年比 $\Delta 0$ 億円 / $\Delta 3\%$ ）

➢ 販管費を削減したものの、減収に伴う荒利の減少が大きく、減益。

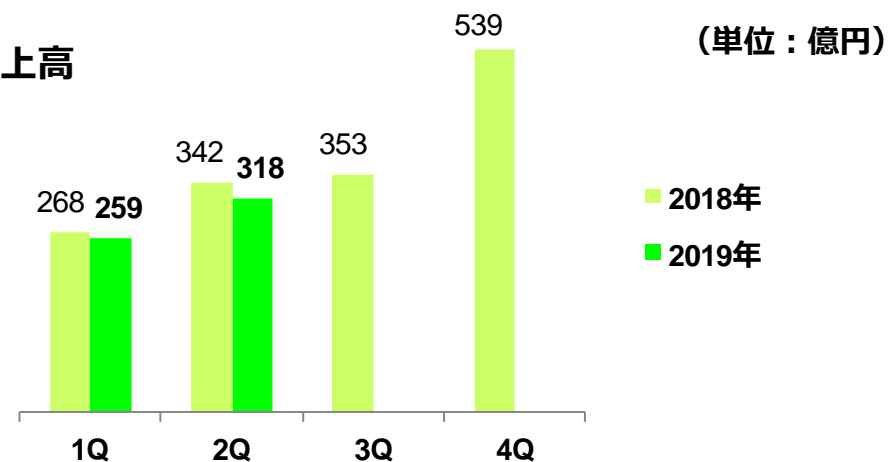
■ 対前年増減

	2018年 1Q-2Q	2019年 1Q-2Q	増減
売上高	610	577	$\Delta 34$
営業利益	$\Delta 11$	$\Delta 3$	+8

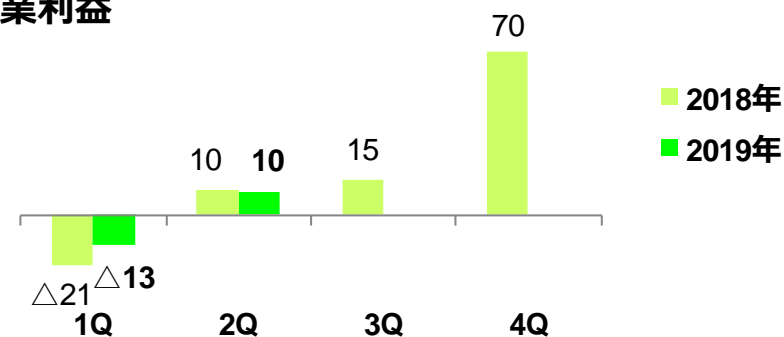
■ 売上高 対前年同期増減

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2019年	$\Delta 3\%$	$\Delta 7\%$			

■ 売上高



■ 営業利益



売上高 488億円 (前年比 +26億円 / +6%)

➢ SIサービス、ITインフラサービス等のITソリューションが順調に推移し、増収。

営業利益 20億円 (前年比 △1億円 / △5%)

➢ キヤノンITソリューションズにおける不採算案件の発生や、販管費の増加等により、減益。

(単位：億円)

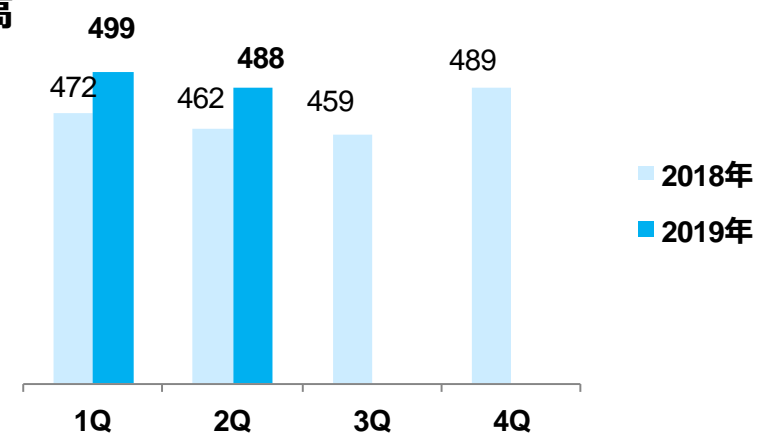
■ 対前年増減

	2018年 1Q-2Q	2019年 1Q-2Q	増減
売上高	934	987	+53
営業利益	43	55	+12

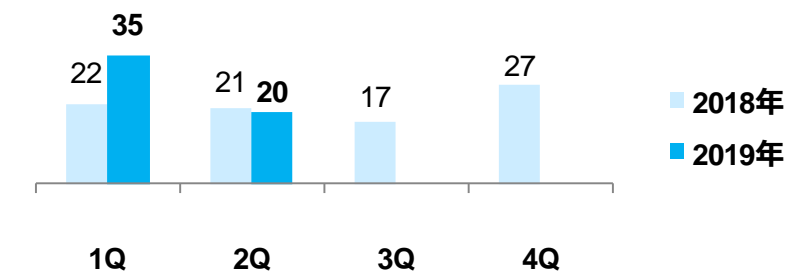
■ 売上高 対前年同期増減

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2019年	+6%	+6%			

■ 売上高



■ 営業利益



売上高 652億円（前年比 +18億円／+3%）

➤ 主要なビジネス機器が減少したものの、中堅・中小企業向けのITソリューションが増加し、増収。

営業利益 32億円（前年比 +4億円／+13%）

➤ ITソリューションビジネスの増収に伴う荒利の増加や、販管費の削減等により、増益。

（単位：億円）

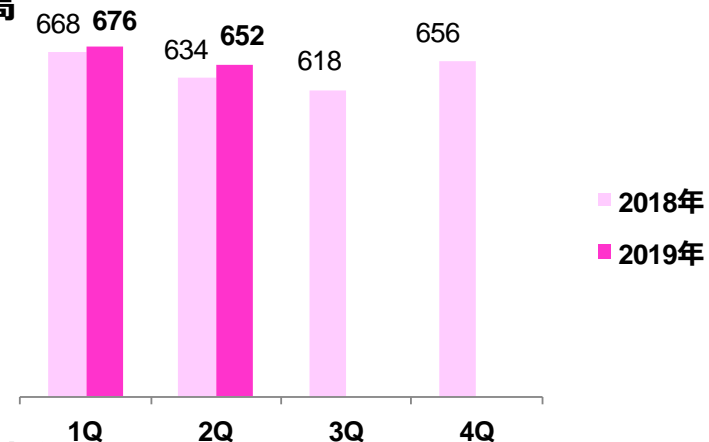
■ 対前年増減

	2018年 1Q-2Q	2019年 1Q-2Q	増減
売上高	1,302	1,328	+26
営業利益	55	70	+15

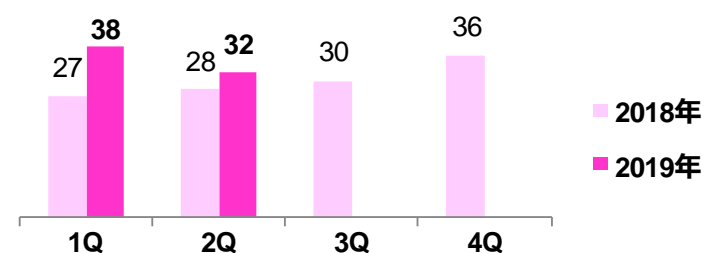
■ 売上高 対前年同期増減

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2019年	+1%	+3%			

■ 売上高



■ 営業利益



売上高 111億円（前年比 Δ 1億円/ Δ 1%）

- ヘルスケアが順調に推移したものの、プロダクションプリンティングが低調だったため、減収。

営業利益 5億円（前年比 +5億円/ $-$ %）

- 販管費の削減等により利益改善。

（単位：億円）

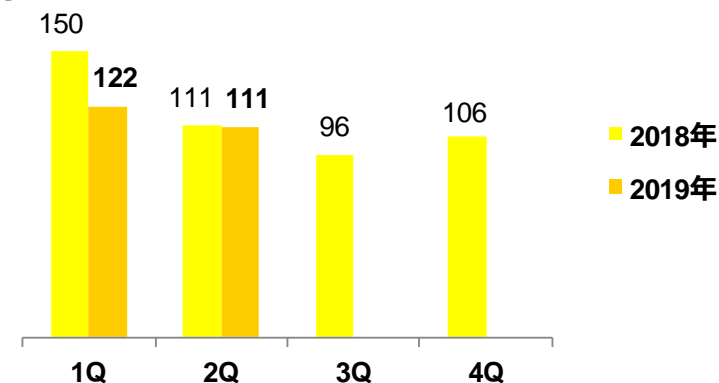
■ 対前年増減

	2018年 1Q-2Q	2019年 1Q-2Q	増減
売上高	262	232	Δ 30
営業利益	8	13	+5

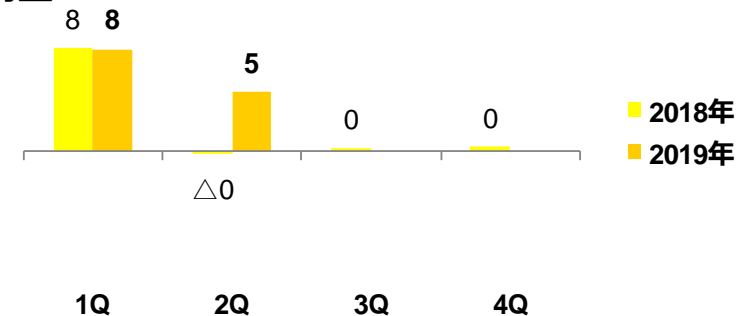
■ 売上高 対前年同期増減

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2019年	Δ 19%	Δ 1%			

■ 売上高



■ 営業利益



■ 売上高対前年増減

	2019年	
	1Q 実績	2Q 実績
プロダクションプリンティング	+1%	△22%
産業機器	△34%	△2%
ヘルスケア	△13%	+19%

■ プロダクションプリンティング

モノクロ・カラー連帳プリンター等が低調に推移したことにより、減収。

■ 産業機器

半導体分野が好調に推移したものの、非半導体分野において、大口の取引があった海外メーカーとの販売代理店契約が終了した影響により、減収。

■ ヘルスケア

病院向けの医療ITが大きく伸長。デジタルラジオグラフィも増加し、増収。

グループITソリューション売上

(単位：億円)

	2018年 2Q	2019年 2Q	増減	
			金額	率
エンタープライズ	287	327	+40	+14%
エリア	146	177	+31	+21%
その他	45	55	+10	+22%
合計	478	559	+81	+17%

	2018年 1Q-2Q	2019年 1Q-2Q	増減	
			金額	率
エンタープライズ	580	645	+65	+11%
エリア	298	356	+58	+20%
その他	101	111	+10	+10%
合計	979	1,111	+133	+14%

【参考】グループITセキュリティ売上高	対前年 増減率	
	2Q	1Q-2Q
グループITセキュリティ	+0%	+1%

業績予想サマリー

(単位：億円)

	2019年 年間 (前回予 想)	2019年 年間 (予想)	増減		2018年 年間 (実績)	前年比較	
			金額	率		金額	率
売上高	6,220	6,220	-	-	6,216	+4	+0%
	(4.7%)	(4.8%)	(+0.1%)		(4.7%)	(+0.2%)	
営業利益	295	300	+5	+2%	289	+11	+4%
	(4.9%)	(5.0%)	(+0.1%)		(4.9%)	(+0.1%)	
経常利益	307	312	+5	+2%	305	+7	+2%
	(4.9%)	(5.0%)	(+0.1%)		(4.9%)	(+0.1%)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	209	210	+1	+0%	208	+2	+1%
	(3.4%)	(3.4%)	(+0.0%)		(3.4%)	(+0.0%)	

業績予想 セグメント概要 前回予想比較

(単位：億円)

	2019年 年間 (前回予想)		2019年 年間 (予想)		前回予想比較		
	売上	営業 利益	売上	営業 利益	売上 金額	率	営業 利益
コンシューマ	1,388	69	1,388	69	-	-	-
エンタープライズ	1,900	97	1,910	99	+10	+1%	+2
エリア	2,629	121	2,619	126	△10	△0%	+5
プロフェッショナル	487	11	487	12	-	-	+1
その他	△184	△3	△184	△6	-	-	△3
合計	6,220	295	6,220	300	-	-	+5

※1. 「その他」には、セグメント間内部売上高やシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。

※2. 2019年より、「プロフェッショナル」セグメントのサブセグメントであった「映像ソリューション」を「エンタープライズ」と「エリア」セグメントに移管しました。

また、グループ内に分散していたセキュリティビジネスの企画・開発機能をキヤノンMJ単体のマーケティング統括部門に集約した結果、セグメント間取引の金額が変更となっております。なお、前期のセグメントは当期の区分方法に組替えを行っております。

業績予想 セグメント概要 前年比較

(単位：億円)

	2018年 年間 (実績)		2019年 年間 (予想)		前年比較		
	売上	営業 利益	売上	営業 利益	売上 金額	率	営業 利益
コンシューマ	1,502	73	1,388	69	△114	△8%	△4
エンタープライズ	1,882	87	1,910	99	+28	+2%	+12
エリア	2,576	121	2,619	126	+43	+2%	+5
プロフェッショナル	464	9	487	12	+23	+5%	+3
その他	△208	△1	△184	△6	+24	-	△5
合計	6,216	289	6,220	300	+4	+0%	+11

※1. 「その他」には、セグメント間内部売上高やシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。

※2. 2019年より、「プロフェッショナル」セグメントのサブセグメントであった「映像ソリューション」を「エンタープライズ」と「エリア」セグメントに移管しました。

また、グループ内に分散していたセキュリティビジネスの企画・開発機能をキヤノンMJ単体のマーケティング統括部門に集約した結果、セグメント間取引の金額が変更となっております。なお、前期のセグメントは当期の区分方法に組替えを行っております。

コンシューマ

- 3Q+4Q：デジタル一眼レフカメラの減少が続くとともに、家庭用インクジェットプリンター・カートリッジが減少し、減収減益を見込む。
- 年間：レンズ交換式デジタルカメラ・インクジェットプリンターの台数見通しは下方修正するものの、販売単価の上昇等により、業績予想は変更せず、売上高は対前年8%減の1,388億円、営業利益は対前年4億円減の69億円を見込む。

エンタープライズ

- 3Q+4Q：主要ビジネス機器の大型案件を受注したことに加え、キヤノンITソリューションズが引き続き堅調に推移するものの、前年にビジネスPC関連の大型案件が複数あったことによる反動減等により、減収を見込む。また、ITソリューションが堅調に推移することで荒利は増加するものの、人件費等の販管費の増加等により、営業利益は横ばいを見込む。
- 年間：主要ビジネス機器の大型案件やITソリューションが上期に順調に推移したこと等により、売上を10億円上方修正し、対前年2%増の1,910億円を見込む。営業利益は、上期までの売上増加に伴う荒利増により、2億円上方修正し、対前年12億円増の99億円を見込む。

エリア

- 3Q+4Q : ビジネスPCの入れ替えは落ち着くものの、セキュリティや運用保守サービス等の売上の増加や、オフィスMFPを積極的に拡販することにより、増収を見込む。また、オフィスMFPの拡販に伴う販促費用や人件費等の販管費の増加等により、減益を見込む。
- 年間 : 売上は2Qまでの進捗を踏まえ10億円下方修正し、対前年では2%増の2,619億円を見込む。営業利益は、ITソリューション関連の売上増に伴う荒利の増加や、販管費の削減等により、前回計画から5億円上方修正し、対前年5億円増の126億円を見込む。

プロフェッショナル

- 3Q+4Q : プロダクションプリンティング・産業機器・ヘルスケアいずれも増収を見込む。
- 年間 : 前回計画から変更はなく、売上は対前年5%増収を見込む。営業利益は上期の上振れ分を織り込み、前回計画から1億円上方修正。対前年3億円増の12億円を見込む。

參考資料

【参考】2018年セグメント移管組替後実績

	2018年							
	1Q		2Q		3Q		4Q	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
コンシューマ	268	△21	342	10	353	15	539	70
エンタープライズ	472	22	462	21	459	17	489	27
エリア	668	27	634	28	618	30	656	36
プロフェッショナル	150	8	111	△0	96	0	106	0
その他	△50	2	△53	0	△52	0	△53	△2
合 計	1,508	37	1,497	59	1,474	62	1,737	130

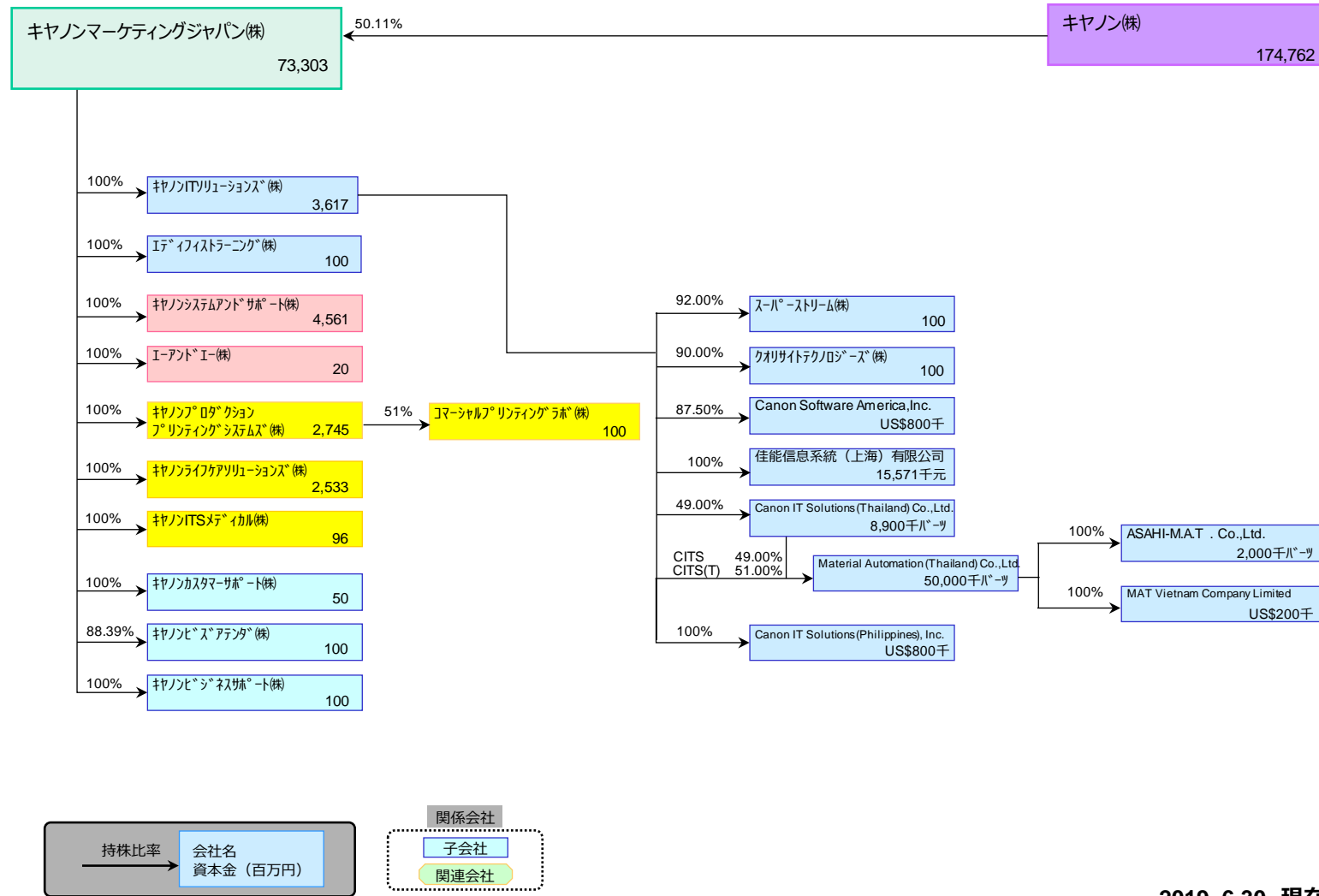
(単位：億円)

※1. 「その他」には、セグメント間内部売上高やシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。

※2. 2019年より、「プロフェッショナル」セグメントのサブセグメントであった「映像ソリューション」を「エンタープライズ」と「エリア」セグメントに移管しました。

また、グループ内に分散していたセキュリティビジネスの企画・開発機能をキヤノンMJ単体のマーケティング統括部門に集約した結果、セグメント間取引の金額が変更となっております。なお、前期のセグメントは当期の区分方法に組替えを行っております。

【参考】関係会社出資関係図



【参考】主要関係会社実績 第2四半期(4~6月)実績

(単位：億円)

		2018年 2Q		2019年 2Q		増減	
		金額	率	金額	率	金額	率
エンタープライズ							
キヤノンITソリューションズ	売上高	208.7		226.3		+17.5	+8%
	営業利益	17.8	(8.5%)	18.4	(8.1%)	+0.7	(△0.4%)
エリア							
キヤノンシステムアンドサポート	売上高	292.3		306.9		+14.6	+5%
	営業利益	9.2	(3.2%)	12.0	(3.9%)	+2.7	(+0.7%)
プロフェッショナル							
キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ	売上高	32.9		24.7		△8.2	△25%
	営業利益	△0.4	(-)	0.4	(1.7%)	+0.8	(-)
キヤノンライフケアソリューションズ	売上高	27.4		26.9		△0.5	△2%
	営業利益	0.3	(1.2%)	0.3	(1.2%)	△0.0	(△0.0%)

※ 主要関係会社の前年実績につきましては、セグメント区分の変更に伴い、各社の前年実績も組替え後の数値となっております。

【参考】主要関係会社実績 第2四半期(1~6月)実績

(単位：億円)

		2018年 1Q-2Q		2019年 1Q-2Q		増減		
						金額	率	
エンタープライズ								
キヤノンITソリューションズ	売上高	420.1		463.4		+43.3		+10%
	営業利益	34.9	(8.3%)	49.9	(10.8%)	+15.1	(+2.5%)	
エリア								
キヤノンシステムアンドサポート	売上高	598.9		620.1		+21.2		+4%
	営業利益	17.2	(2.9%)	24.4	(3.9%)	+7.3	(+1.1%)	
プロフェッショナル								
キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ	売上高	61.5		53.7		△7.8		△13%
	営業利益	△2.6	(-)	1.0	(1.8%)	+3.5	(-)	
キヤノンライフケアソリューションズ	売上高	61.5		58.0		△3.5		△6%
	営業利益	1.8	(2.9%)	1.4	(2.5%)	△0.4	(△0.4%)	

※ 主要関係会社の前年実績につきましては、セグメント区分の変更に伴い、各社の前年実績も組替え後の数値となっております。

【参考】販管費の内訳

第2四半期(4~6月)実績



(単位：億円)

	2018年 2Q	2019年 2Q	サービス 組替影響	2019年 2Q (組替前)	組替前増減 2Q
広告宣伝費	19	19	-	19	+0
販売促進費	11	8	-	8	△3
保証費	11	9	1	10	△2
その他直接費	49	47	-	47	△2
人件費	304	264	48	312	+8
減価償却費	3	2	-	2	△1
その他販売費	73	68	2	70	△3
合計	471	417	51	468	△2

【参考】販管費の内訳 第2四半期(1~6月)実績

(単位：億円)

	2018年	2019年	サービス 組替影響	2019年 (組替前)	組替前増減
	1Q-2Q	1Q-2Q	1Q-2Q	1Q-2Q	1Q-2Q
広告宣伝費	38	36	-	36	△2
販売促進費	23	17	-	17	△5
保証費	24	19	1	20	△3
その他直接費	97	93	-	93	△4
人件費	619	529	94	623	+4
減価償却費	6	4	-	4	△2
その他販売費	146	136	4	140	△6
合計	953	834	100	934	△20

【参考】営業外収支・特別損益の内訳

(単位：億円)

■ 営業外収益

	2018年		2019年		増減	
	2Q	1Q-2Q	2Q	1Q-2Q	2Q	1Q-2Q
受取利息	1	1	1	1	△0	△0
受取配当金	1	1	1	1	△0	△0
受取保険金	5	5	5	5	△1	△1
投資事業組合運用益	2	5	0	2	△2	△3
その他	1	3	1	2	+0	△1
合計	10	15	7	10	△3	△4

■ 営業外費用

	2018年		2019年		増減	
	2Q	1Q-2Q	2Q	1Q-2Q	2Q	1Q-2Q
支払利息	0	0	0	0	+0	+0
その他	1	1	0	1	△0	△0
合計	1	1	0	1	△0	△0

【参考】営業外収支・特別損益の内訳

(単位：億円)

■ 特別利益

	2018年		2019年		増減	
	2Q	1Q-2Q	2Q	1Q-2Q	2Q	1Q-2Q
固定資産売却益	0	1	0	0	+0	△1
投資有価証券売却益	4	4	-	-	△4	△4
関係会社株式売却益	2	2	-	-	△2	△2
合計	6	7	0	0	△6	△7

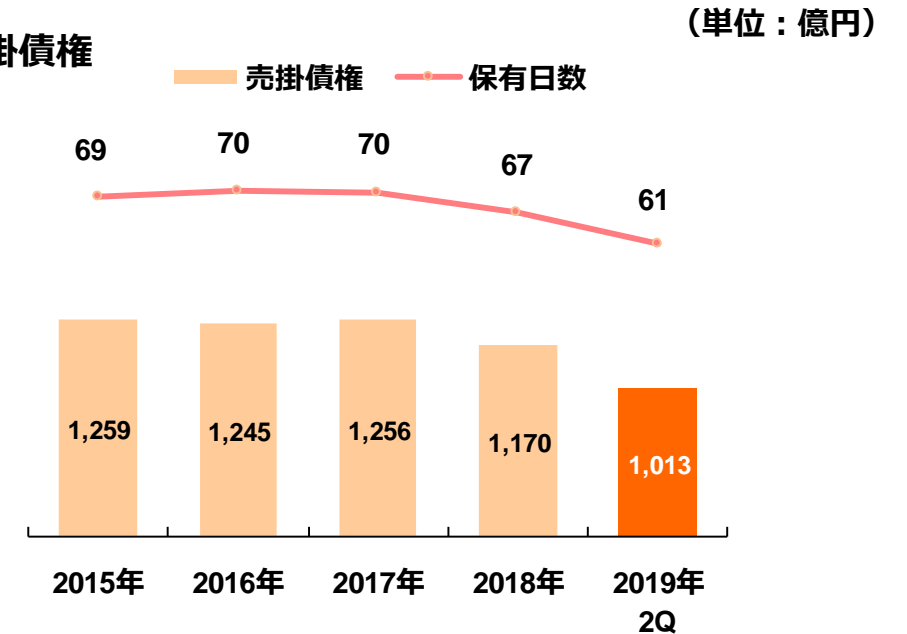
■ 特別損失

	2018年		2019年		増減	
	2Q	1Q-2Q	2Q	1Q-2Q	2Q	1Q-2Q
固定資産除売却損	1	1	1	1	+1	+0
減損損失	0	0	-	-	△0	△0
投資有価証券評価損	-	1	0	0	+0	△1
拠点再編費用	-	0	-	-	-	△0
その他	0	0	0	0	△0	△0
合計	1	3	1	2	+0	△1

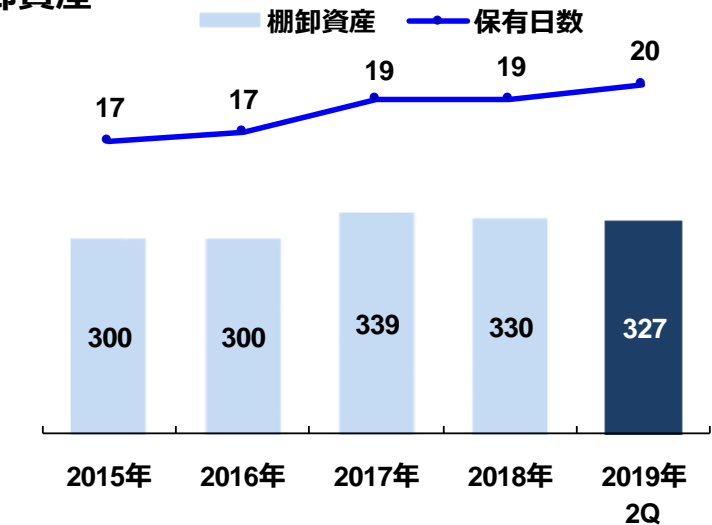
【参考】貸借対照表

	2018年 12月	2019年 6月	増減
資産	4,988	4,795	△193
流動資産	3,872	3,614	△258
金融資産	1,356	993	△362
売掛債権	1,170	1,013	△157
棚卸資産	330	327	△4
その他	1,016	1,281	+265
固定資産	1,115	1,181	+66
有形固定資産	720	753	+33
無形固定資産	53	48	△5
投資その他	343	380	+37
負債	1,952	1,694	△258
流動負債	1,299	1,056	△243
買掛債務	758	462	△296
その他	541	594	+53
固定負債	653	638	△15
純資産	3,036	3,101	+65
株主資本	3,142	3,181	+39
(自己株式)	△319	△319	△0
その他の包括利益累計額	△111	△85	+26
非支配株主持分	5	6	+0
株主資本比率	61%	65%	+4%

■ 売掛債権

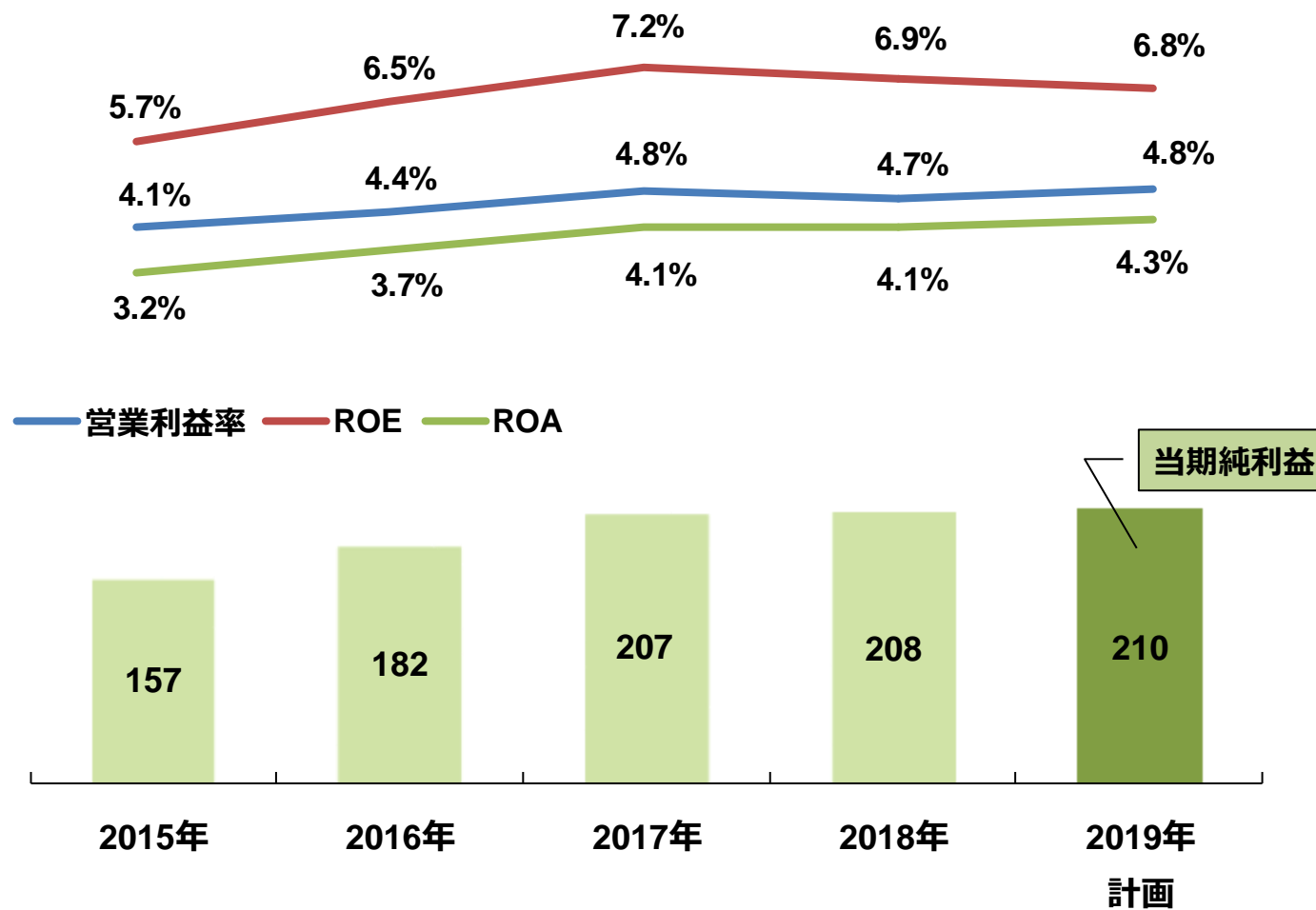


■ 棚卸資産



(単位：億円)

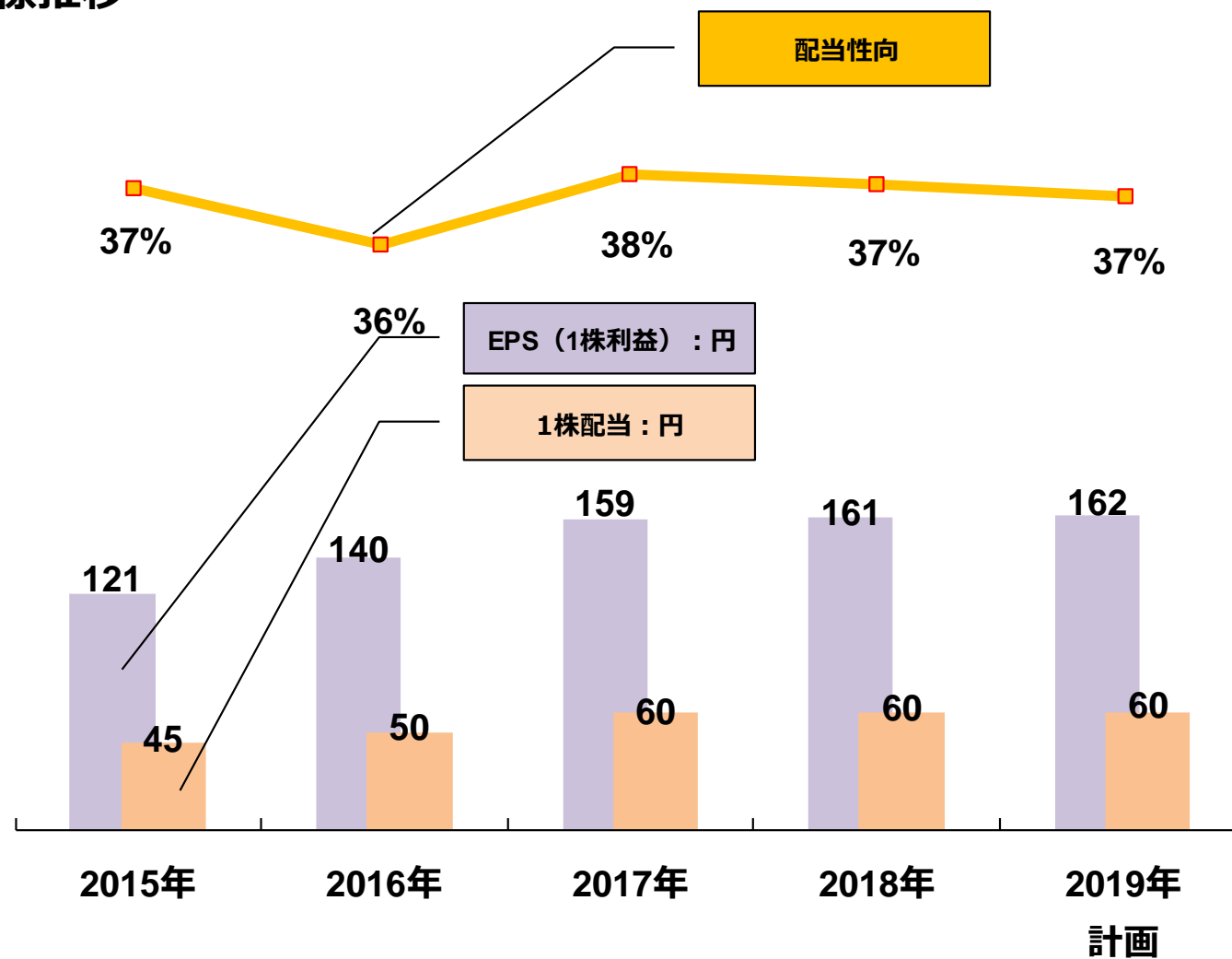
■ 財務指標推移



【参考】財務指標推移 配当性向／EPS／配当

(単位：円)

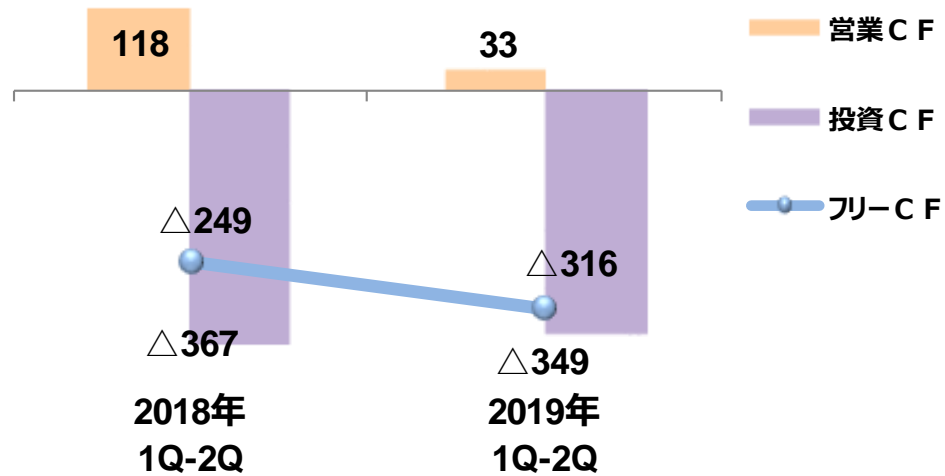
■ 財務指標推移



【参考】キャッシュ・フロー/設備投資・減価償却

(単位：億円)

■キャッシュ・フロー



■設備投資

	1Q-2Q 実績	3Q-4Q 計画	年間
2018年	59	49	107
2019年	87	168	255

■減価償却

	1Q-2Q 実績	3Q-4Q 計画	年間
2018年	67	66	133
2019年	61	65	126

Canon

キヤノンマーケティングジャパングループ